

令和7年度第2回幕別町地域公共交通活性化協議会議案

【書面会議】

1 議 事

議案第3号 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

議案第4号 幕別町地域公共交通計画の進捗状況について

2 報告事項

報告第6号 幕別町地域公共交通活性化協議会委員の変更について

【配付資料等】

資料1 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

幕別町地域公共交通活性化協議会委員名簿（第7期 任期R6.1.24-R8.1.23）

	区分	氏名	所属	役職	備考
1	幕別町	会長 伊藤 博明	幕別町	副町長	
2	北海道運輸局帯 広運輸支局長が 指名する者	徳田 陽介	帯広運輸支局	首席運輸企画 専門官	
3	北海道十勝総合 振興局長が指名 する者	石山 大介	十勝総合振興局地域創生部 地域政策課	課長	
4	関係する道路管 理者が指名する 者	小林 悟	帯広開発建設部道路計画課	課長	
5		日下 和雅	十勝総合振興局帯広建設管理部 事業室地域調整課	課長	
6	帯広警察署長が 指名する者	高谷 政伸	帯広警察署交通第一課	課長	
7	一般旅客自動車 運送事業者の代 表	吉田 昌人	十勝バス株式会社運輸営業部	部長	
8		加藤 貴志	北斗タクシー有限公司	統括課長	
9		桑島 亮	エイシン運輸有限公司	代表取締役	
10	住民又は利用者 の代表	高島 政由	幕別地区町内会長代表	宝町公区長	
11		中橋 伸勝	札内地区町内会長代表	文京町町内会長	
12		熊田 由幸	札内地区町内会長代表	途別町町内会長	
13		山田 敏明	南幕別地区町内会長代表	中糠内公区長	
14		山崎 和夫	忠類地区町内会長代表	栄町公区長	
15		副会長 笹井 守	幕別町商工会	会長	
16		副会長 高橋 平明	幕別町社会福祉協議会	会長	
17		監査委員 宮本真由美	幕別町民生委員児童委員協議会	会長	
18		川尻 宏	幕別町消費者協会	事務局次長	
19		鳴海 走也	幕別町PTA連合会	会長	
20	飛田 稔章	幕別町老人クラブ連合会	会長		
21	昆 公成	幕別町障害者（児）団体連絡協議会	会長	新任	
22	幕別町長が指名 する町職員	寺田 治	幕別町住民生活部	部長	
23		亀田 貴仁	幕別町保健福祉部	部長	
24		高橋 修二	幕別町経済部	部長	
25		河村 伸二	幕別町建設部	部長	
26		石田 晋一	幕別町教育委員会教育部	部長	
27	その他協議会が 必要と認める者	久保 真司	十勝地区バス労働組合連絡会	代表	
28		塚本 俊二	十勝地区ハイヤー協会	常務理事	

議案第3号 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（平成23年3月30日 国総計第97号、国鉄財第368号、国鉄業第102号、国自旅第240号、国海内第149号、国空環第103号）第3条第5項及び地域公共交通確保維持改善事業実施要領（平成23年4月1日国総計第5号、国鉄財第4号、国鉄業第4号、国自旅第20号、国海内第8号、国空環第5号）に基づき、事業の実施状況の確認、評価を行い、地方運輸局に報告するとともに公表する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について

コミュニティバス及び予約型乗合タクシーに係る令和7年度分(令和6年10月1日～令和7年9月30日)の事業評価について、資料1のとおり帯広運輸支局を通じ、国土交通大臣に提出するもの。

※評価基準※

○ 事業実施の適切性（項目④）

生活交通確保維持改善計画に基づく事業が適切に実施されたかをA・B・Cの3段階で評価するとともに、実施内容についても具体的に記載する。

A：事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。

B：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。

C：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。

○ 目標・効果達成状況（項目⑤）

生活交通確保維持改善計画に位置づけられた定量的な目標・効果が達成されたかをA・B・Cの3段階で評価するとともに、事業実施の定量的な目標・効果に対する達成状況を具体的に記載する。

A：事業が計画に位置づけられた目標を達成した。

B：事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった。

C：事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。

【参考】

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（抜粋）

（協議会）

第3条第1項～第4号 略

5 協議会は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

地域公共交通確保維持改善事業実施要領（抜粋）

8. 事業評価について

(1) 事業評価の実施

①自己評価（一時評価）

地域公共交通確保維持改善事業による支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、評価（以下「自己評価」という。）を行い、当該自己評価の結果を、地域公共交通確保維持事業及び地域公共交通調査等事業にあつては、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに、地域公共交通バリア解消促進等事業にあつては、補助金の交付を受けた会計年度の翌年度の1月末までにそれぞれ協議会から、地方運輸局、神戸運輸監理部、地方航空局又は沖縄総合事務局（以下「地方運輸局等」という。）に報告するとともに、公表することとする。

議案第4号 幕別町地域公共交通計画の進捗状況について

令和6年4月に策定した幕別町地域公共交通計画では、評価・検証に向けたPDCAサイクルの構築として、毎年、施策の目標値に対する実績の評価・検証を基に施策の実施内容の改善・見直しを行うこととしている。

令和6年度における施策の推進状況及び数値目標の達成状況については次のとおり。

1 施策の推進状況

(1)【基本方針1】既存の公共交通の維持・存続

番号	施策名	施策概要	取り組みの内容
施策①	JR、路線バスの路線の維持、存続	JR、路線バスの路線の将来的にわたる維持、確保を図るため、利用促進策の検討、実施及び運行経費の支援の継続を行います。	○バスの運行ルートや便数を維持していくための利用促進策について、自治体及び交通事業者等で構成する十勝地域公共交通計画推進協議会において、利用促進策の情報共有や運行の最適化に向けた協議を進めるなど、十勝全体で路線バスの維持、確保に向けて取り組んだ。 ○住民の自由な外出を確保するため、事業者の運行する公共交通に対する運行経費などの一部を補助することで、路線バスの維持・確保を図った。
施策②	コミュニティバスの利便性向上	コミュニティバスの利便性向上を図るため、令和10年度に予定しているダイヤ改正時に向けて運行内容の改善等を図ります。	○コミュニティバス乗込調査を夏期及び冬季に行い、運行内容（運行ルート、便数、運行時間帯、バス停留所の位置や環境）の改善のためのニーズ把握を行った。
施策③	交通事業者への運転手確保に対する支援	将来にわたる公共交通の維持、確保を図るため、交通事業者への運転手確保に対する支援を行います。	○十勝地域公共交通計画推進協議会において、運転手等人材確保のイベントが開催され、その広報活動に協力した。

(2) 【基本方針2】公共交通のシームレス化やデジタル化による利便性の向上

番号	施策名	施策概要	取り組みの内容
施策④	新しい決済サービスの導入検討	電子マネー、スマートフォンによる決済など、新しい決済サービスの導入について研究、検討を行い、利用者の利便性向上を目指します。	○A I デマンドバスなどの新たな移動手段に関するオンライン研修会に参加したほか、他自治体の導入実績などの情報収集に努めた。
施策⑤	農村部と市街地を結ぶ移動手段の利便性向上	農村部と市街地を結ぶ移動手段について、利便性向上の観点から検討を進めます。	○地域で開催する出前講座で路線の周知を図った。 ○1市3町(帯広市・音更町・芽室町・幕別町)で取り組む公共交通検討会の中で、自動運転やデマンドバスなどの情報交換を行った。

(3) 【基本方針3】モビリティマネジメントの推進

番号	施策名	施策概要	取り組みの内容
施策⑥	関係者との連携・協力によるモビリティマネジメントの推進	わかりやすい情報提供を行い、公共交通利用の増加につなげます。	○市街地への転入者へコミュニティバスの時刻表を配布し、路線の周知を行った。 ○交通事業者が開催する「バスにのってみようキャンペーン」のイベント周知広報に協力した。 ○まくべつ産業まつりで、口頭で簡易なアンケートを行い、コミバスの認知度や利用率を調査し、協力者へ乗車券や時刻表の配付を行った。
施策⑦	運転免許証自主返納を行いやすい環境づくり	高齢者の交通事故防止の観点から、運転免許証自主返納を行いやすい環境づくりに努めます。	○帯広警察署と連携し、運転免許証自主返納出張窓口を7月と11月に開設し、運転免許試験場や警察署へ赴くことが困難な方のサポートに努めた。

2 数値目標の達成状況

評価指標	単位	区分	現況値	達成状況				
			令和4年度 (2022年度)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)
コミュニティバス 延べ利用者数	人	目標値	—	25,200	26,198	27,094	27,910	28,660
		実績値	21,950	32,125				
		達成率	—	127.5%				
予約型乗合 タクシー 延べ利用者数	人	目標値	—	1,226	1,238	1,250	1,263	1,274
		実績値	1,214	1,338				
		達成率	—	109.1%				
公共交通利用 啓発イベント の実施回数	回	目標値	—	3	3	3	4	5
		実績値	2	1				
		達成状況	—	未達成				
コミュニティバス停留所 環境整備に係る 取組数	件	目標値	—	—	1	1	1	1
		実績値	—	—				
		達成率	—	—				
公共交通への 公的資金投入 額(町負担額) ※1	千円	目標値	—	100,996以下	100,996以下	100,996以下	100,996以下	100,996以下
		実績値	100,996	114,046				
		達成状況	—	未達成				
路線バス 系統数 ※2	-	目標値	—	4系統	4系統	4系統	4系統	4系統
		実績値	4系統	4系統				
		達成率	—	100%				
運転免許証自主 返納者の コミュニティバス 延べ利用者数	人	目標値	—	1,376	1,430	1,479	1,524	1,565
		実績値	565	1,874				
		達成率	—	136.2%				

※1 コミュニティバスの運行費補助金 (R4:16,786千円)、予約型乗合タクシーの運行費補助金 (R4:5,438千円)、スクールバスの運行委託額(登下校委託料R4:78,772千円)について、支出年度を基準として測定する

※2 4系統の内訳: 帯広陸別線、南商あかしゃ線、広尾線、幕別線

報告第6号 幕別町地域公共交通活性化協議会委員の変更について

団体の役員改選により新たにご推薦いただいたことに伴い、次のとおり協議会の委員が変更となるもの。

21	所 属	役 職	氏 名
旧	幕別町障害者（児）団体連絡協議会	会長	宮澤 清志
新		会長	昆 公成

【説明】

委員の任期は前任者の残任期間（令和8年1月23日まで）となります。